一般社団法人火葬研　令和２年度通常総会

議事結果

　　 日　時　令和２年６月２日（火）15：00～16：00

　　　　場　所　神田法人会会議室（東京都千代田区神田錦町三丁目１３番地　旺巧ビル2階）

一般社団法人火葬研はこの度の新型コロナウィルス感染症緊急事態宣言を受け、令和２年度通常総会を「書面審議による開催」とした。

会員からの審議回答については、ＦＡＸおよび電子メールを含め５月２９日（金）までに提出頂き、６月２日（火）に理事立会いのもと集計し、各議案の審議結果を確認した。結果については火葬研ホームページで公開する方式とした。

Ⅰ．総会の成立報告

正会員６５名のうち出席５名、議決権行使３１名、委任状による出席９名の合計４５名の出席があり、定款に基づき（過半数の出席によって成立）、事務局より総会が成立する旨の報告があった。

会員数　　　出　席　　議決権行使　委任状出席　　　出席合計

法人会員(団体)　　２５　　　　　２　　　１７　　　　　３　　　 　　２２

　　　個人会員（人）　 ４０　　　　　３　　　１４　　　　　６　　 　　２３

　　　　合　　計　　　　６５　　　　　５　　　３１　　　　　９　　　 　　４５

出席者　代表理事　武田至　　理事　木谷靖孫、長江曜子、鈴木洋一、成嶋研

Ⅱ．議長の選出および会長の挨拶

議事の審議に先立ち議長の選出を行った。定款に基づき、会長の武田至君が議長として議案の審議を行うことに関して、出席者から承認を得た。議長の挨拶の後、総会の開会の宣言が行われ、議事に入った。

Ⅲ．議事録署名人の選出について

　議事録署名人として、議長が出席者の中から木谷靖孫君、成嶋研君を指名し、承認された。

Ⅳ．議事

　武田至君が議長となって承認議決した事項は、次のとおりである。

議案第１号　令和元年度事業報告承認の件

　現在の会員状況及び、令和元年度事業の報告が行われ、審議の結果、原案通り承認された。

会員状況

　　法人会員　２５団体（入会１団体）　　前年度２４団体

　　個人会員　４０名　（入会３名） 　前年度３７名

事業計画に基づき、次の事業を実施した。

当会は公益社団法人日本建築家協会（ＪＩＡ）のＣＰＤのプロバイダー認定されており、一部研修会及び施設見学会については、ＣＰＤプログラムとして申請を行った。

①令和元年度通常総会の開催

日　時　令和元年５月２９日（水）14：10～14：45

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア会議室401（東京都千代田区神田錦町3丁目21番地）

■第１部　通常総会

時　間　14:00～15:00

■第２部　基調講演

時　間　15:15～16:45

題　名　東ジャワ・マランの火葬場 - イスラム圏の華人社会における火葬文化

講　師　遠山和大（富山大学）

■懇親会

時　間　17：00～19：00

会　場　だん家　神田錦町店（安田グリーンパークビル１階）

②理事会の開催

　　開催日　令和元年5月13日（月）、令和元年6月17日（月）、令和元年7月8日（月）、令和元年9月9日（月）、令和元年10月21日（月）、令和元年11月18日（月）、令和2年1月20日（月）、令和2年3月16日（月）（計8回開催）

③実施事業１（公益事業）

１．施設見学会（開催回数　４回）

２．研修会等（開催回数　４回）

３．火葬研大会－研究発表と基調講演

メインテーマ　人口減少社会と火葬場の課題

開催日　令和元年11月7日（木）友引

場　所　神田法人会会議室（東京都千代田区神田錦町3丁目13番地　旺巧ビル2階）

第一部　公開研究会

テーマ　ソーシャルワーカーからみた葬送の課題

講　師　吉川　美津子（アルック代表　葬送・終活ソーシャルワーカー／社会福祉士）

第二部　建築作品発表　発表5施設

火葬大賞作品選奨

広域静苑組合越生斎場（埼玉県）：山下設計

第三部　研究発表 　14:10～16:30

１．学生設計優秀賞　発表2題

２．研究発表　10題

火葬大賞論文賞

19302　日欧の火葬炉を中心とした空間の考え方について

中野裕正（山下設計）

懇親会（各賞の発表）

会　場　龍福軒　神田淡路町（東京都千代田区神田錦町1-14-13 神田テラス3F)

４．認定講習（開催講義数　４講義）

コア科目の受講

開催日　令和元年8月6日（火）

会　場　ちよだプラットフォームスクウェア　地下１階ミーティングルーム　R002

　　　コーディネーター認定者

火葬場計画コーディネーター　　 4名（累計49名）

火葬場設計コーディネーター　　 5名（累計50名）

火葬業務コーディネーター 6名（累計79名）

５．学生表彰制度

火葬場の卒業研究及び卒業制作の優秀作品に関する表彰を行った。

　　　　学生最優秀設計賞

19102　終の景、湖上の別れ−奥浜名湖におけるホスピスと火葬場が紡ぐ環−

中倉　俊（神戸大学大学院）

　　　　学生優秀設計賞

19101　生命の終わりと始まりの場の設計

遠藤　涼平（日本大学大学院）

６．会誌発行

火葬研究「２３」の発行（94頁）

主な内容・巻頭言　火葬場の多機能化を考える

・惜別の空間を考える　ドイツ・オランダ・ベルギーの墓地・火葬場を訪ねて

建築作品事例

火葬研大会－研究発表会2019－

海外レポート

国別・地域別にみた火葬状況について

協会記事

製作部数　800部

広告掲載　7社

会員及び参加者に火葬大賞の事前投票用紙と合わせて発送。

７．研究部会

計画部会は部会を4回（通算29回）開催、部会メンバーで火葬トリビアの原稿を執筆しウェブサイトに掲載中。また研修会での講師を務めた。

８.海外との交流

　　海外の関連施設の見学と意見交換。

○海外研修の実施

中欧3ヵ国の墓地・火葬場の施設見学と意見交換

期　間　令和元年7月27日(土)－8月4日(日)9日間

訪問先

7/28　サイレント グリーン クルチュアクウァルティーア（ドイツベルリン）

7/29　バウムシューレンベグ火葬場（ドイツベルリン）

7/30　フリートホーフ・オールスドルフ、ハンブルク火葬場（ドイツハンブルク）

7/31　ハーレム火葬場、ウェスターヴェルド火葬場（オランダ）

8/01　ズーテルメール火葬場（オランダ）

8/02　アールスト火葬場、アイジクト火葬場（ベルギー）

④実施事業２（収益事業）

受託業務

基本設計業務　1件

基本計画等策定業務　2件

技術資料作成及び技術支援業務　10件

議案第２号　令和元年度決算報告承認の件及び監査報告

　令和元年度決算の報告及び監査の報告が行われ、審議の結果、原案通り承認された。

収入の合計は27,307,532円、仕入高合計は9,441,387円、販売及び一般管理費は16,658,930円で、営業利益は1,207,215円であった。

　受取利息は59円、雑収入は22,969円で、営業外収入の合計は23,028円で、税引前純利益は1,230,243円であった。法人税等は70,000円で、当期純利益は1,160,243円であった。

監査は5月7日に実施した。

議案第３号　令和２年度事業計画承認の件

　令和２年度事業計画の説明が行われ、審議の結果、原案通り承認された。

また、新型コロナの影響により、実施が難しいなど実施事業の変更が生じた場合は、理事会の承認をもって変更を可能とする。

また、火葬研大会や研修会については、場合によってはオンラインでの実施も検討する。

■活動目標

①弔う空間としての火葬場空間のあり方

葬儀の簡素化や直葬の増加にみられるように、火葬がより重要視されるようになってきている。

財政状況が厳しい中、火葬場の運営手法を含め弔う空間としてどうあるべきか、探求していくものとする。

②海外の設計事務所との交流と火葬場計画のコラボレーション

　海外の火葬場だけでなく設計事務所を含め積極的な交流を図り、海外の設計事務所とのコラボレーションを目指す。東南アジアやヨーロッパを中心に、日本の火葬場文化との融合を考える。

③火葬に関する情報発信の強化

ｈｐ及び会誌の英語のページの充実。

■事業計画

①公益事業スケジュール

１．施設見学会

（認定講習受講者任意選択　※1ヵ所以上参加）ＣＰＤプログラム申請

○第１回施設見学

見学先　調整中

実施日　令和2年9月7日（月）友引

○第２回施設見学

見学先　調整中

実施日　令和2年12月1日（火）友引

○第３回施設見学

見学先　調整中

実施日　令和3年2月25日（木）友引

※定　員　各30名

※参加費　火葬研会員4,000円　一般5,500円　自治体職員・学生1,000円（税込＊資料代含む）

２．火葬研大会－研究発表会と基調講演－

火葬研大会

メインテーマ　弔う空間としての火葬場を問う（仮）

開催日　令和2年11月19日（木）

時　間　12：00～16：30

第一部　公開研究会（講師による基調講演）

第二部　火葬場作品発表会（最近竣工した火葬場の発表）

第三部　研究発表会（火葬及び葬送に関する国内外の事例をもとにした研究発表）

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

定　員　100名（参加申込順）

※参加費　火葬研会員6,000円 一般8,000円自治体職員・学生2,000円（税込＊資料代含む）

※ＣＰＤプログラム申請

懇親会（火葬大賞表彰）

時　間　17：00～19：00

会　場　千代田区神田錦町近辺

参加費　3,500円を予定（事前申込制）

３．研修会等　※認定講習受講者は関連する科目を受講

１）「火葬場の計画」に関する研修会（認定講習専門科目①）

立地の考え方から住民対策及び施設計画について学びます。

テーマ　周辺環境と火葬場計画

講　師　一般社団法人火葬研　計画部会

開催日　令和2年9月17日（木）友引

時　間　15：10～16：40

定　員　30名（参加申込順）

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

２）「火葬場の設計」に関する研修会（認定講習専門科目②）

葬送の場としての火葬場の空間の考え方ついて学びます。

テーマ　外部空間を取り入れた空間演出

講　師　一般社団法人火葬研　計画部会

開催日　令和2年10月22日（木）友引

時　間　15：10～16：40

定　員　30名（参加申込順）

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

３）「火葬業務」に関する研修会（認定講習専門科目③）

火葬場での遺族への配慮や業務の心構えなどについて学びます。

テーマ　火葬場での業務の心構えと遺族対応

講　師　斉藤　弘子（終活カウンセラー・フリーライター）秋葉　律子（小笠原流礼法講師）

開催日　令和2年11月25日（水）友引

時　間　14：10～16：40

定　員　30名（参加申込順）

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

４）「葬祭の知識を深める」研修会

テーマ　火葬場に関する空間演出（仮）

講　師　未定

開催日　令和3年2月2日（火）

時　間　15:10～16:40

場　所　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

※ＣＰＤプログラム申請

※定　員　各30名

※参加費火葬研会員4,000円一般5,500円自治体職員・学生1,000円（税込・資料代含む）

４．能力開発支援制度

提示されたカリキュラムを受講した者に対して、それぞれの部門の知識習得者として認定する。

認定講習開催日（コア科目）

開催日　令和2年8月26日（水）友引

講義内容

 9:20～10:50　火葬の始まりと普及について　　　講師：武田　至（火葬研）

11:00～12:30　法律の流れと関連法規について　　講師：藤枝　秀樹（愛知産業大学教授）

13:20～14:50　火葬場の機能と火葬設備について　講師：武田　至（火葬研）

15:00～16:30　火葬場の運営について 　　講師：今村　至孝（火葬研）

会　場　ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区神田錦町3‐21）予定

定　員　各講義　30名

参加費　火葬研会員・自治体職員　４講義　45,000円（税込＊資料代含む）

一般　　　　　　　　　　４講義　70,000円（税込＊資料代含む）

※認定講習受講者は、専門科目の受講の他１ヵ所以上を見学

　※ＣＰＤプログラム申請

５．火葬等に関する情報提供

１）会誌の発行

火葬研究「２４」の発行

製作部数　800部

原稿依頼：令和2年6月8日（月）（研究発表、掲載作品）

提出期限：令和2年9月30日（水）

編集校正：令和2年10月1日（木）～10月30日（金）

会誌発送：令和2年11月10日（火）

　２）問い合わせに関する相談業務

　　　電話及びメールでの火葬等に関する問い合わせに関する相談を行う。

６．研究部会

　　　定期的に部会を開催し、研究成果等については、火葬研大会や建築学会等で発表を行う。

〇計画部会

活動目標　月1回程度の部会の開催

活動内容　火葬場を一般の人に理解してもらうための図書の出版、火葬研ｈｐへの火葬トリビアの掲載、海外の設計事務所とのコラボレーションを行う。

　　　　　火葬場についての語りの場「サロン・ドKasouken」の開催。

　　　　　　　　他に火葬研大会、建築学会等での研究発表の実施。

　７．学生表彰制度

　　　火葬場の卒業研究及び卒業制作の優秀作に関する表彰を行う。

　　　学生及び今春の卒業生からエントリーをしてもらい、選定委員で優秀者を選出する。

　　　優秀者には褒賞を与え、火葬研大会で発表をしてもらう。

　　　※2020年1月下旬、建築学科設置の大学研究室72校へ「学生表彰制度の募集案内」と「火葬研究22、23」を送付した。

８．海外の関係団体との交流

　海外からの来訪者の受入や海外視察を含め、海外の関連団体との交流を行う。

○海外の関係団体との交流

海外からの来訪者の受入対応を含め、海外の関連団体との意見交換を行い相互の交流を図る。

○海外研修の実施

7月26日（日）～8月2日（日）にスイス、オーストリア、チェコの墓地火葬場を訪問するため現地との調整を行い受入先も一部確定していたが、新型コロナウィルス感染拡大に伴う渡航制限に伴い、申込者もいたたが実施が難しいと判断し中止することとした。

同じコースでの実施要望があるため、次年度の実施へと変更することとする。

海外の墓地・火葬場での新型コロナウィルス感染症対策の調査も検討しているが、今年度は海外視察は実施しない予定である。

②収益事業

調査業務等の受託

　火葬及び火葬場に関する調査業務の受託。

10ヵ所程度を受注予定。

議案第４号　令和２年度予算承認の件

令和２年度予算の説明が行われ、審議の結果、原案通り承認された。

収入の合計は24,420,000円、支出合計は23,316,600円、税引前純利益は1,103,400円を見込む。

Ⅴ．閉会の挨拶

議長より、閉会の宣言が行われ、総会が閉会した。